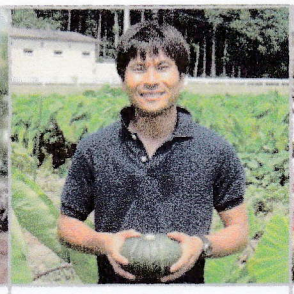
パネラー農家プロフィール



氏名(年齢)	浅井 雄一郎 (34)	石倉 至 (35)	佐野 拓也 (35)	村山 邦彦 (42)
会社・農園名	(株)浅井農園	紀伊ファーム	サノ・オーキッド	伊賀ベジタブルファーム(株)
地域	津市	紀北町	鈴鹿市	伊賀市
主要作付作物	ミニトマト、緑化樹木	露地野菜(かぼちゃ、にんにく、コーン、サツマイモ、葉物野菜など)	鉢物の洋蘭栽培(シンビジューム、デンドロビューム、パフィオ)	トマト、ほうれん草、ブロッコリーなど
品目数	ミニトマト／5品種 緑化樹木／約100種類	20品目	およそ40品種	15～20品目
就農経緯	東京で5年半のサラリーマンを経て、農家の5代目として家業を継いだ。	大学農学部で学んだのがきっかけ。一度化学メーカーに就職したが、退職し、アメリカ農業研修に参加、その後日本の農家で研修を経て独立。	農家の2代目として中学生の時から蘭づくりに興味を持つ。4年間の大学、経済学部をでてオランダで1年研修、国内研修を2年経て就農へ。	大学卒業後、機械エンジニア、高校理科教員を経て32歳で脱サラ。各地で2年半の研修の末、伊賀市で就農、以来野菜の有機栽培に取り組んでいる。
就農スタイル	緑化樹木の生産では難しかった為、新規事業として施設園芸を自分で始めた。	新規	後継者	新規
就農年数	8年目	3年目	9年目	8年目
農業への思い	日本の農業を世界でも勝負できる競争力ある産業にしたい。	食は生活の基本。そこに大きく関わる農業は本当に大切な仕事だと思う。日本の農業が大きな転換点にある今、地方農業を支えられるようになりたい。	農業は生きていく上で大切な仕事。その中で花を作ることで人の心を豊かにできる。花を通して生きているものと触れ合えるんです。 お水をあげないとお花は枯れちゃう、人も同じですもんね。	これからの時代をつくるのは、<農業>かもしれない。 忍者の里、伊賀の地から世界を変えていきます。
バトルへの意気込み	僕のようなイレギュラーな農業継承モデルもある事を知って頂きたいです。	独立して間もない新規就農者代表として、農業の面白さ、厳しさを伝えたい。地域農業についても現状を伝えたい。	農家はどんなことをしてるのか?どうやって生活していこうとしてるのか?理想と現実をぶつけていくぜー	つくらず、飾らず、隠さず、本音トークを心がけます。楽しんでもらえるのが一番。
WEBサイト	www.asainursery.com	なし	www.yumenohana.com	iga-vegetable.jp
facebook	●	●	●	●
ブログ	なし	なし	●	●

[みえ次世代農家 トークバトル]

司会：石本 慶紀
(石本果樹園)

◆ 開催日 ／ 2015年1月31日(土)　トークバトル 10:15～12:20
　　みえ次世代農家のつくった野菜を使用した昼食&懇談会 12:30～14:30頃まで

◆ 定　員 ／ 50名（昼食を準備する為、予約が必要です）

◆予約締切／ 2015年1月26日(月) 17:00まで

◆ 参加費 ／ トークバトル：300円（学生無料）
　　昼食＆懇談会：700円　※当日集めます
　　（講演会のみの参加も可能です）

◆ 会　場 ／ 三重大学　環境・情報科学館1階ホール

◆ 主　催 ／ 地域と協同の研究センター三重のつどい